

# 福島県立医科大学々報

## 目 次

○ 学 事	_____
令和4年度医学博士授与者	..... 2
○ 人 事	_____
新任教授等・新任准教授等・新任講師等	..... 4
就任あいさつ	..... 5
・別科助産学専攻 別科長	太田 操
・保健科学部 理学療法学科 学科長	高橋 仁美
・保健科学部 診療放射線科学科 学科長	加藤 貴弘
○ 組 織 改 正	_____
F-R-E-I連携室設置について	..... 7
助産師養成課程の開設について	..... 7
○ 諸 規 程 改 正	_____
令和4年3月から令和5年3月までの主な諸規程の制定改廃関係	..... 8
○ 役員会等要旨	_____
役員会	..... 9
経営審議会	.....12
教育研究審議会	.....13
医学部教授会	.....14
看護学部教授	.....15
保健科学部教授会	.....16

編集・発行

公立大学法人福島県立医科大学

事務局 企画財務課

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

TEL 024 (547) 1013 / FAX 024 (547) 1991

学 事

■令和4年度 医学博士授与者

氏名	学位論文名
加藤 寛	Complement Activation Product and Cytokine in Pachychoroid Neovascularopathy and Neovascular Age-Related Macular Degeneration (バキコロイド血管新生黄斑症と滲出型加齢黄斑変性症の患者における眼内補体活性化産物とサイトカイン)
呉 華睿	A Modified Measurement Method to Evaluate Choriocapillaris Flow Voids with Swept Source OCT Angiography. (SSOCT 血管造影による脈絡毛細板 Flow Void 画像評価法の改良)
村田 強志	Effects of maternal ritodrine hydrochloride administration on the heart rate of preterm fetal sheep with intraamniotic inflammation (子宮内炎症下におけるリトドリン塩酸塩母胎投与の胎仔心拍数への影響ーヒツジ胎仔慢性実験モデルを用いてー)
神 雄一朗	DNA damage induced by radiation exposure from cardiac catheterization - an analysis in patients and operators- (心臓カテーテル検査における放射線被ばくのゲノム DNA に及ぼす影響 -患者と術者における検討)
松岡 直紀	Galectin-9 は SLE の疾患活動性を反映し臓器障害を予測するバイオマーカーとして有用である
木下 ゆり	東日本大震災から9年半後の高齢者の主観的幸福感とその関連要因の検討: 相馬市沿岸部での横断研究
金田 晃尚	Role of the cGAS-STING pathway in regulating the tumor-immune microenvironment in dMMR/MSI colorectal cancer (ミスマッチ修復欠損/マイクロサテライト不安定性大腸癌の腫瘍免疫微小環境制御における cGAS-STING 経路の役割)

山ノ井 優	Soluble protein tyrosine phosphatase receptor type Z(PTPRZ) in cerebrospinal fluid is a potential diagnostic marker for glioma (ヒト脳脊髄液の可溶性 PTPRZ は神経膠腫の診断マーカーとなりうる)
齋藤 宏章	福島県南相馬市における東日本大震災後の大腸がん市民検診の参加率の長期的な傾向の解析
藤田 雄也	Differential regulation and correlation between galectin-9 and anti-CCP antibody (ACPA) in rheumatoid arthritis patients (関節リウマチ患者におけるガレクチン9と抗CCP抗体の相関と病態形成への関与)
久米 庸平	Gene expression profile and injury sites in mice treated with Shiga toxin 2 and lipopolysaccharide as a Shiga toxin-associated hemolytic uremic syndrome (Shiga toxin 2 と lipopolysaccharide を投与した溶血性尿毒症症候群モデルマウスにおける遺伝子発現プロファイルと障害部位の検討)
泉 竜太	Dysregulation of DPYSL2 expression by mTOR signaling in schizophrenia: Multi-level study of postmortem brain (統合失調症における mTOR シグナルを介した DPYSL2 発現の調節異常: 死後脳マルチスケール研究)
鈴木 崇斗	Effect of the Lactococcus Lactis 11/19-B1 Strain on Atopic Dermatitis in a Clinical Test and Mouse Model (Lactococcus lactis 11/19-B1 株のアトピー性皮膚炎に対する抑制効果)
原田 将太	Radiological assessments and clinical results of intra-articular osteotomy for traumatic osteoarthritis of the ankle (外傷性足関節症に対する関節内骨切り術の X 線評価及び臨床成績)
小林 拓史	Clinical impact of gastrectomy for gastric cancer patients with positive lavage cytology without gross peritoneal dissemination (肉眼的腹膜播種を伴わない腹腔洗浄細胞診陽性胃癌患者に対する胃切除の臨床的意義)

<p>濱田 晃市 Clinical benefit of the multibending endoscope for gastric endoscopic submucosal dissection: a randomized controlled trial (胃癌に対する粘膜下層剥離術におけるマルチベンディングスコープの臨床的有用性:ランダム化比較試験)</p>	<p>渡辺 祐樹 Associations between core stability and low back pain in high school baseball players: A cross-sectional study (高校野球選手におけるCore Stabilityと腰痛の関連:横断的研究)</p>
<p>片山 皓太 Door-to-Oral Time and In-hospital Outcomes in Older Adults with Aspiration Pneumonia Undergoing Dysphagia Rehabilitation (摂食嚥下リハビリテーション下での高齢誤嚥性肺炎患者における絶食時間と院内アウトカムとの関連)</p>	<p>遠藤 圭一郎 Prognostic Value of Simultaneous Analysis with Myocardial Flow Reserve and Right Ventricular Strain by Hybrid <sup>13</sup>N-ammonia Positron Emission Tomography/Magnetic Resonance Imaging in Coronary Artery Disease (虚血性心疾患における<sup>13</sup>N-ammonia PET/MRIを用いた心筋血流予備能と右室ストレインの同時評価による予後予測能の検討)</p>
<p>松岡 香菜子 L-Theanine Protects Bladder Function by Suppressing Chronic Sympathetic Hyperactivity in Spontaneously Hypertensive Rat (慢性的な交感神経緊張状態により誘発される下部尿路機能障害に対するL-テアニンの予防効果)</p>	<p>伊藤 美郷 Immune escape mechanism behind resistance to anti-PD-1 therapy in gastrointestinal tract metastasis in malignant melanoma patients with multiple metastases. (多発性転移を伴う悪性黒色腫患者の抗PD-1療法抵抗性消化管転移巣における免疫逃避機構について)</p>
<p>大原 妃美佳 Renal Venous Stasis Index Reflects Renal Congestion and Predicts Adverse Outcomes in Patients With Heart Failure (Renal Venous Stasis Indexは心不全患者における腎うっ血を反映し不良な予後と関連する)</p>	<p>黒沢 雄太 The Prognostic Impact of D-dimer on Long-term Mortality in Patients with Coronary Artery Disease after Percutaneous Coronary Intervention (経皮的冠動脈形成術を施行した冠動脈疾患患者におけるD-dimerの長期死亡率に対する影響についての検討)</p>
<p>遠藤 雄大 Claudin-9 is a novel prognostic biomarker for endometrial cancer (クローディン9は子宮体がんの新規予後マーカーである)</p>	<p>吉田 一隆 Primary health care practitioners' perception of patient loneliness in Japanese older adults: A cross-sectional study (プライマリ・ヘルス・ケアに関わる医療従事者による、日本の高齢患者の孤独の気づきに関する横断研究)</p>
<p>島津 勇三 Secondary analysis of a national survey data analyzing work, professional training and working hours based on the occupational environment of 15,677 Japanese clinicians in 2016 (2016年における日本の臨床医15,677人の職場環境に基づく仕事、専門教育、労働時間を分析した全国調査データの二次分析)</p>	<p>滝浪 (本田) 瑠璃子 Association between the presence of bacteria in the prostate tissues and pathological findings of the prostate in men without complaining of lower urinary tract symptoms (下部尿路症状を有しない男性における前立腺組織内細菌の有無と病理学的所見との関連性)</p>
<p>菅原 由紀子 Prognostic Effects of Changes in Right Ventricular Fractional Area Change in Patients with Heart Failure (心不全患者における右室面積変化率の変化と予後の関係)</p>	<p>渡邊 剛広 Relationship between lumbar disc degeneration on MRI and low back pain: A cross-sectional study in the community (MRIにおける腰椎椎間板変性と腰痛の関連:地域住民における横断研究)</p>
<p>天海 一明 Utility of a novel wearable electrode embedded in an undershirt for electrocardiogram monitoring and detection of arrhythmias (心電図モニタリングおよび不整脈検出におけるシャツ型電極の有用性)</p>	

<p>和田 健斗 Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy (拡張型心筋症における末梢白血球のFKBP5 DNAメチル化の臨床的意義)</p>	<p>中山 祐次郎 Benefit of intensive chemotherapy for elderly patients aged 80 years or older with metastatic colorectal cancer: a state-wide multicenter cohort study (80歳以上の再発・切除不能大腸癌患者に対する化学療法に関する研究 多施設共同コホート研究)</p>
<p>天目 純平 Real-world comparative effectiveness of bDMARDs and JAK inhibitors in elderly patients with rheumatoid arthritis (高齢関節リウマチ患者における生物学的製剤とJAK阻害剤の有効性と安全性の比較検討)</p>	<p>山下 彰 Intensity dependency of peripheral nerve stimulation in spinal LTP induced by paired associative corticospinal-motoneuronal stimulation (PCMS) (連合性対皮質脊髄運動ニューロン刺激(PCMS)によって誘発される脊髄LTPにおける末梢神経刺激の強度依存性)</p>
<p>小橋 友理江 Humoral immunity after second dose of BNT162b2 vaccine in Japanese communities: an observational cross-sectional study, Fukushima Vaccination Community Survey (新型コロナウイルスワクチン BNT162b2 の2回接種後の体液性免疫についての観察的横断研究:福島ワクチン住民調査)</p>	<p style="text-align: center;"><b>人 事</b></p>
<p>飯田 英和 Salt intake and body weight correlate with higher blood pressure in the very elderly population: The Sukagawa Study (後期高齢者集団における塩分摂取量・体重と高血圧との関係性)</p>	<p style="text-align: right;">(令和5年4月1日現在)</p>
<p>山口 久志 Clinical outcomes and factors involved in the local control of proton beam therapy for oligometastatic liver tumors in patients with colorectal cancer (大腸癌肝転移に対する陽子線治療の臨床成績と局所制御に関する因子解析)</p>	<p>○<b>新任教授等</b></p>
<p>藤田 将史 Skeletal muscle volume loss during transarterial chemoembolization predicts poor prognosis in patients with hepatocellular carcinoma (肝動脈化学塞栓療法で治療した肝細胞癌患者における骨格筋量減少の影響)</p>	<p>採用 5. 4.1 ころと脳の医学講座 教授 矢部 博興</p> <p>採用 5. 4.1 外傷再建学講座 教授 伊藤 雅之</p> <p>採用 5. 4.1 総合科学教育研究センター 教授 藤平 明彦 アンドリュウ</p> <p>採用 5. 4.1 災害医療支援講座 教授 池上 之浩</p> <p>採用 5. 4.1 小児科学講座 特命教授 長坂 雄一</p>
<p>本田 和也 Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: The Fukushima Health Management Survey (東日本大震災後の避難は高尿酸血症に関連する独立した因子の一つである:福島県県民健康調査)</p>	<p>採用 5. 4.1 会津医療センター 臨床医学部門 主任部長 鈴木 理</p> <p>昇任 5. 4.1 会津医療センター 外科学講座 主任部長 樋口 光徳</p> <p>○<b>新任准教授等</b></p> <p>採用 5. 4.1 地域先端循環器病治療学講座 准教授 小林 淳</p> <p>採用 5. 4.1 心臓調律制御医学講座 准教授 山田 慎哉</p>

採用 5. 4.1 先端地域生活習慣病治療学講座

准教授 木村 浩

採用 5. 4.1 泌尿器科学講座

准教授 小川 総一郎

採用 5. 4.1 総合周産期母子医療センター

准教授 安田 俊

昇任 5. 4.1 小児腫瘍内科

准教授 望月 一弘

## ○新任講師等

採用 5. 4.1 地域先端循環器病治療学講座

講師 三阪 智史

昇任 5. 4.1 脳神経内科学講座

講師 松田 希

採用 5. 4.1 放射線腫瘍学講座

講師 竹本 靖

採用 5. 4.1 外傷学講座

講師 原田 将太

採用 5. 4.1 低侵襲腫瘍制御学講座

講師 濱田 晃市

採用 5. 4.1 循環器内科学講座

講師 金城 貴士

昇任 5. 4.1 会津医療センター 血液内科学講座

科部長 助川 真純

## ■就任あいさつ

### 別科長就任御挨拶



別科助産学専攻

別科長

太田 操

令和5年4月から新たに2つの助産師養成課程「別科助産学専攻」と「大学院看護学研究科博士前期課程 助産師コース」がスタートしました。校舎は、光が丘キャンパス8号館(看護学部棟)の西側に建設された8号館WESTです。

日本では、保健師助産師看護師法で、看護職の中で助産師だけが女子のみと定められています。助産師が最も必要とされるのが分娩期だからではないかと考えています。

数か月前の新聞に、アメリカの社会心理学者サブナ・チュリアンらの報告が掲載されていました。それによると「日本では、工学系就職や数学は男子向きとの間違った”数学ステレオタイプ”が強く認識されている。しかし、実は知的能力は生まれながらではなく、環境要因によるところが大きいといわれている。数学ステレオタイプは5歳頃から芽生えることが知られており、それを否定してくれる大人がいないと、子どもは、算数数学は男子の方が出来ると思いつみ、女子は力を入れなくなってしまう。近年は、ジェンダー意識が影響することも分かってきた」との内容が書かれていました。

学生が、これから助産学を学ぶに当たり、環境はとても重要であることを再認識させられると同時に責任の重さを痛感しています。女子のみの職業である助産師の道を選んだ新生入生が、“ステレオタイプ”の考え方を払拭し、本学の新たな助産師養成課程の第1期生として入学したことに誇りを持ち、自律した助産師となっていくことを期待します。そして、学生・教員一丸となって新たな伝統を創っていきましょう。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

**保健科学部 理学療法学科  
学科長就任御挨拶**

保健科学部  
理学療法学科  
学科長  
高橋仁美



理学療法学科の学科長に就任した高橋仁美と申します。私は、市立秋田総合病院で37年間、臨床現場で働いていました。2020年に国際医療福祉大学で1年間お世話になり、2021年から福島県立医科大学に着任しました。福島県立医科大学は医療系総合大学として進化しましたが、その一翼を担うことを大変嬉しく思っております。

私は、保健科学部の教員の皆様と協力して、学生が保健科学部に入学して良かったと実感できるような教育環境や教育体制の充実に努めてまいりたいと思っております。特に、臨床実習教育においては、現在で県内83施設に及ぶ臨床実習施設との信頼関係を築くことが非常に重要であると認識しております。この信頼関係の構築は、臨床実習教育の充実に加え、卒業生の就職にも大きな影響を与えるものと考えています。

さて、物理医学としての理学療法は、リハビリテーションの理念と結びつき、リハビリテーション医療が誕生した歴史を持つわけですが、リハビリテーション医療は、チームアプローチによって成立します。福島県立医科大学の多職種の皆様と協力し、社会人基礎力を土台に、堅実な専門知識と専門技術、深い探求心、そしてチーム医療の一翼を担うことができる理学療法士を育成していきたいと思っております。

私は、理学療法学科はもちろん、保健科学部全体の発展に貢献することを目指してまいりますので、学生の皆様、保健科学部教員の皆様、そして関係者の皆様におかれましては、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**保健科学部 診療放射線科学科  
学科長就任御挨拶**

保健科学部  
診療放射線科学科  
学科長  
加藤貴弘



令和5年4月1日付けで保健科学部診療放射線科学科長を拝命いたしました加藤貴弘と申します。私はこれまで放射線治療を中心に長らく臨床現場に従事した後、平成30年8月から本学新医療系学部設置準備室に着任し、本学部の立ち上げから運用まで携わって参りました。開設3年目を迎え、いよいよ本格化するこのタイミングでの就任ということでその責任の重さを日々噛みしめているところです。

診療放射線技師の業務は画像検査を中心に核医学検査、放射線治療など多岐に渡り、いずれも日進月歩で進化し続けています。一方で最新の技術もこれまで培われてきた知見がベースとなることから、本質を理解するためにはそれら歴史的経緯も含めて幅広く学ぶことが求められます。幸い福島駅前キャンパスにはCT、MRIをはじめ、充実した教育環境が整っていますので限られた時間の中においても効果的な教育を実現することが可能となっています。このような環境を整備することにご理解ご支援をいただきました関係者の皆様に改めてこの場をお借りして御礼申し上げる次第です。

本学科は、福島県内唯一の診療放射線技師養成施設であり、学生教育はもとより、放射線医療のさらなる発展のため、卒後教育にも広く貢献することが求められていると考えています。県内医療機関との共同研究も積極的に行っていますが、本学に寄せられる期待も非常に大きいことを肌で感じているところです。その期待に応えられるように教員一同誠心誠意努めて参りますので今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 組織改正

### ■ F-R E I 連携室設置について



F-R E I 連携室は、福島国際研究教育機構（通称：F-R E I）との連携を推進するため、事務局復興推進課の課内室として令和5年4月1日に設置されました。

F-R E I と本学は、双方の持つ資源を有効的に活用した研究開発や人材育成の充実を図るため、4月5日に基本合意書を締結したところであり、今後、本学は東日本大震災後に精力的に実施してきた取組を基盤として、F-R E I における「放射線科学・創薬医療」と「原子力災害に関するデータや知見の集積・発信」の2つの分野の研究に、更に積極的に参画して参りたいと考えております。

### ■ 助産師養成課程の開設について



令和5年4月、光が丘キャンパスに新たな2つの助産師養成課程「別科助産学専攻」と「大学院看護学研究科 博士前期課程 看護学専攻 母性看護学・助産学領域 助産師コース」を開設しました。

東日本大震災を経験した福島県にとって、周産期における母子及びその家族を中心とした親子保健の充実が重要な課題です。本県では復興を前へ進める上で、将来を担う子どもたちを安心して生み育てるために、その役割の一翼を担う人材として、臨床実践能力としての助産診断力・助産技術力を身に付け、高い倫理観を備え地域の保健・医療・福祉に貢献できる助産師を養成していきます。

## 諸規程改正

### ■令和4年3月から令和5年3月までの 主な諸規程の制定改廃関係

#### ○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営 規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・令和4年4月1日施行)  
令和4年度の組織改正に伴い、所要の改正が行われた。

#### ○「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」 の一部改正について

(平成18年4月1日制定・令和4年4月1日施行)  
入学検定料、入学料及び授業料(別表第1)に別科助産学専攻一般学生が追加された。  
(令和4年5月1日施行)  
附属病院の自由診療に関する諸料金(別表第2)が改正された。  
(令和4年10月1日施行)  
附属病院の紹介状を持参しない患者に対する加算料が改正された。

#### ○福島県立医科大学別科学則の制定について

(令和4年4月1日制定・令和5年4月1日施行)  
福島県立医科大学別科に関し必要な事項が定められた。

#### ○「福島県立医科大学学則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・令和4年4月1日施行)  
医学部の定員を暫定的に増員するため及びその他所要の改正が行われた。  
大学院看護学研究科博士後期課程の設置に伴う文言の追加が行われた。

#### ○「福島県立医科大学大学院学則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・令和4年4月1日施行)  
医学研究科博士課程の入学・収容定員が変更された。  
看護学研究科に博士後期課程を設置、修士課程を博士前期課程へ変更することに伴う所要の改正が行われた。

#### ○「福島県立医科大学附属病院規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・令和4年4月1日施行)  
先端的低侵襲手術センター及び呼吸器センターの設置、検査部部长補佐の設置に伴う所要の改正が行われた。

#### ○令和4年4月1日施行の妊娠・出産・育児等と 仕事の両立支援のための措置を踏まえた休業 制度の改正について

令和4年4月1日施行の妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のための措置を踏まえた休業制度の改正が次の規程で行われた。

- ・公立大学法人福島県立医科大学准職員就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年4月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学非常勤職員就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年4月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学臨床研修医就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年4月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学病院助手就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年4月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学専攻医就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年4月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学研修歯科医就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年4月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター鍼灸研修生就業規則  
(平成26年4月1日制定・令和4年4月1日施行)

### ○令和4年10月1日施行の妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のための措置を踏まえた休暇制度の改正及び所要の改正について

令和4年10月1日施行の妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のための措置を踏まえた休暇制度の改正及び所要の改正が次の規程で行われた。

- ・公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年10月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学准職員就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年10月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学非常勤職員就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年10月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学臨床研修医就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年10月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学病院助手就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年10月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学専攻医就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年10月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学研修歯科医就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和4年10月1日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター鍼灸研修生就業規則  
(平成26年4月1日制定・令和4年10月1日施行)

### ○「公立大学法人福島県立医科大学役員報酬規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・令和5年1月25日施行)  
県の給与改定に準じ、期末特別手当の支給割合が改正された。

### ○定年引上げに伴う所要の改正について

定年引上げに伴う所要の改正が次の規程で行われた。

- ・公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和5年2月22日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学非常勤職員就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和5年2月22日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学病院助手就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和5年2月22日施行)
- ・公立大学法人福島県立医科大学専攻医就業規則  
(平成18年4月1日制定・令和5年2月22日施行)

### ○福島県立医科大学部局長等選考規程の一部改正について

(平成18年4月1日制定・令和5年3月20日施行)  
部局長等の任期について、引き続き4年を超えて在任することはできないことが追記された

## 役員会等要旨

### ■役員会

#### 【令和4年3月23日 第13回役員会】

#### ○福島県立医科大学大学院学則の一部改正について

大学院看護学研究科の領域設置に伴う大学院学則の一部改正についての審議が行われ、原案のとおり承認された。

#### ○第3期中期計画の変更について

中期計画の変更について、県に変更認可申請を行い、福島県公立大学法人評価委員会での審議を経て、認可される見込みとなったことについて報告された。

#### 【令和4年4月1日 第1回役員会】

#### ○地方独立行政法人法第14条第5項に基づく副理事長、理事の任命の届出について

副理事長及び理事に辞令を交付し任命したこと、地方独立行政法人法に基づき知事に届け出ることについて報告された。

#### 【令和4年4月27日 第2回役員会】

#### ○公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正について

附属病院の白内障患者に対する水晶体再建術に使用する多焦点眼内レンズ支給他2件の料金の新設に関する諸料金規程の一部改正について審議が行われ、原案のとおり承認された。

**○令和3年度不正防止対策実施状況について**

「公的研究費の管理・運営体制に関する要綱」第3条及び「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」に基づき、令和3年度の不正防止対策の実施状況について報告された。

**【令和4年5月25日 第3回役員会】****○公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正について**

本学諸料金規程別表第1に規定する「紹介状を持参しない患者に対する加算料」の改正内容、及び改正案により県と協議することについて審議が行われ、原案のとおり承認された。

**○「県民健康調査」の進捗状況について**

5月13日に開催された第44回「県民健康調査」検討委員会にて公表された県民健康調査の進捗状況について報告された。

**【令和4年6月29日 第4回役員会】****○本学とオハイオ州立大学放射線腫瘍学講座との学術交流協定（覚書）の更新について**

オハイオ州立大学放射線腫瘍学講座との学術交流協定（覚書）の更新について審議され、原案のとおり承認された。

**【令和4年7月27日 第5回役員会】****○国立台湾大学医学部との学術交流協定の締結について**

国立台湾大学医学部との学術交流協定（覚書）の締結について審議され、原案のとおり承認された。

**【令和4年8月31日 第6回役員会】****○目的積立金に係る執行上限額について**

目的積立金に関する申合せに基づき、会津医療センターに597,138,367円、光が丘共通に2,384,981,039円を配分することについて審議が行われ、原案のとおり承認された。

**○令和5年度医学部入学定員増員計画の提出について**

文部科学省及び厚生労働省からの通知に基づき、医学部入学定員増員計画を提出したことについて報告された。

**【令和4年9月28日 第7回役員会】****○公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則等の一部改正について**

国・県において、「妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のための措置」として、休暇制度の改正が行われることに伴う就業規則等の一部改正についての審議が行われ、原案のとおり承認された。

**○医学部定員の暫定増に伴う学則の一部改正について**

地域の医師不足に対応するため実施してきた医学部定員の暫定増について、令和5年度についても認められる見込みであることから、それに伴う学則の改正を行い、文部科学省へ届出したことについて報告された。

**【令和4年10月26日 第8回役員会】****○目的積立金「共通」の執行について**

目的積立金について、附属病院から申請あった共通分の執行について審議が行われ、原案のとおり承認された。

**○公立大学法人福島県立医科大学理事長選考スケジュールについて**

令和4年10月6日に開催された理事長選考会議において決定した、理事長選考スケジュールについて報告された。

**○令和5年度運営費交付金等の要求について**

令和5年度運営費交付金及び長期借入金について、総額で202億6,700万円を県に要求すること等について報告された。

**【令和4年11月30日 第9回役員会】**

**○令和5年度予算編成方針（案）について**

令和5年度予算編成の基本的な考え方、重点的に取り組むべき課題及び予算編成に当たっての留意事項等を定める方針について審議が行われ、原案のとおり承認された。

**○令和6年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について**

令和4年度末を期限とする医学部入学定員の臨時増員の枠組みについて、令和5年度末まで1年間延長されること等について報告された。

**【令和4年12月21日 第10回役員会】**

**○福島県立医科大学大学院学則の一部改正について**

共同大学院「医学研究科災害・被ばく医療科学共同専攻」の授業科目見直しに伴う大学院学則の一部改正について審議が行われ、原案のとおり承認された。

**○理事長選考における意向投票の公示等について**

理事長選考会議における理事長候補者の選出状況や意向投票の日程等について報告された。

**○放射性治療薬開発に関する国際シンポジウム in 福島について**

当該事業について、令和5年4月に設立される福島国際研究教育機構の先行研究事業として、本学が文部科学省より受託して開催すること等について報告された。

**【令和5年1月25日 第11回役員会】**

**○公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正について**

附属病院の自由診療に関する諸料金に、先端臨床研究センターで行う「特別PETがん検査」を追加することについて審議が行われ、原案のとおり承認された。

**○次期理事長予定者の選考結果について**

意向投票の結果を踏まえ、理事長選考会議において次期理事長予定者が選出されたことについて報告された。

**【令和5年2月22日 第12回役員会】**

**○福島県立医科大学職員就業規則等の一部改正について**

令和5年4月1日より県が導入する定年引上げに伴い、教員、医師及び歯科医師以外の定年を60歳から65歳まで2年に1歳ずつ段階的に引き上げることに伴う就業規則等の一部改正を行うことについて審議が行われ、原案のとおり承認された。

**○「福島県立医科大学発ベンチャー」の称号授与について**

株式会社ジェイサーバイオから申請あった福島県立医科大学発ベンチャーの称号授与について、令和5年3月1日に称号を授与することについて報告された。

**【令和5年3月29日 第13回役員会】**

**○本学と福島国際研究教育機構との連携協力に関する基本合意書の締結について**

令和5年4月設立の福島国際研究教育機構と、包括的な連携の下で、双方の資源を有効的に活用した協働活動を推進し、相互の研究開発及び人材育成等の充実を図ることなどを目的とした基本合意書を締結することについて審議が行われ、原案のとおり承認された。

**○福島県立医科大学部局長等選考規程の一部改正について**

看護学部長及び保健科学部長の任期を、医学部長と同様に連続2期までとする規程の一部改正を行ったことについて報告された。

## ■経営審議会

### 【令和4年3月18日 令和3年度第4回経営審議会】

#### ○令和4年度計画について

令和4年度年度計画案について審議が行われ、原案のとおり承認された。

#### ○令和4年度法人予算案について

令和4年度法人予算案について審議が行われ、原案のとおり承認された。

### 【令和4年6月28日 令和4年度第1回経営審議会】

#### ○経営審議会の委員改選に伴う理事長選考会議の委員選出について

公立大学法人福島県立医科大学理事長選考会議の委員3名が選出された。

#### ○令和3年度決算（案）について

法人全体の当期総利益が32億8,600万円となり、前年度決算との比較で11億5,500万円の利益増となったこと等、令和3年度の年次決算案について審議され、原案のとおり承認された。

### 【令和4年9月5日 令和4年度第2回経営審議会】

#### ○令和4年度福島県公立大学法人評価委員会の結果について

令和4年8月24日に開催された福島県公立大学法人評価委員会における本学の令和3年度業務実績に関する評価結果及び第3期中期目標期間に係る業務実績に関する評価結果の議論の概要について報告された。

#### ○令和4年度第2回内部統制委員会の審議結果について

今年度対応すべき重要なリスクとして選定した「情報セキュリティ」について、本学の状況や課題に対する取組等を審議したことが報告された。

#### ○理事長候補適任者推薦に係る臨時の経営審議会の開催について

令和5年3月末日をもって、理事長の任期が満了となることから、令和4年10月に理事長選考会議を開催し、選考手続について審議、決定される予定であること等について説明がされた。

### 【令和4年12月9日 令和4年度第3回経営審議会】

#### ○令和4年度中間決算について

9月までの当期総利益は6億7,200万円となり、前年度同期との比較で2億4,700万円の利益減となったこと等について報告された。

#### ○令和5年度予算編成方針について

令和5年度予算編成の基本的な考え方、重点的に取り組むべき課題及び予算編成に当たっての留意事項等を定めた方針について報告された。

### 【令和5年3月23日 令和4年度第4回経営審議会】

#### ○令和5年度法人予算案について

令和5年度法人予算案について審議が行われ、原案のとおり承認された。

#### ○役員報酬の特例減額措置の延長について

役員報酬の特例減額措置の延長について審議が行われ、原案のとおり承認された。

#### ○令和4年度決算見込みについて

令和4年度の決算見込みの概要について報告された。

#### ○次期理事長予定者の選考結果について

令和5年1月13日に有資格者による意向投票を実施し、同日開催の理事長選考会議において次期理事長予定者が選出されたことについて報告された。

## ■教育研究審議会

### 【令和4年3月18日 令和3年度第4回教育研究審議会】

#### ○名誉教授称号授与について

令和4年3月31日付けで退職する、甲状腺内分泌学講座の鈴木眞一教授及び人間科学講座（生命倫理分野）の藤野美都子教授の名誉教授称号授与について審議され、原案のとおり承認された。

#### ○次期医学部長候補者の選考結果について

令和4年2月16日に開催された医学部主任教授会において選考された次期医学部長候補者について報告された。

#### ○次期看護学部長候補者の選考結果について

令和4年2月15日に開催された看護学部人事教授会において選考された次期看護学部長候補者について報告された。

#### ○別科助産学専攻（仮称）に係る助産師学校の指定について

令和4年2月3日付けで文部科学大臣より助産師学校として指定を受けたこと等について報告された。

### 【令和4年6月28日 令和4年度第1回教育研究審議会】

#### ○教育研究審議会の委員改選に伴う理事長選考会議の委員選出について

公立大学法人福島県立医科大学理事長選考会議の委員3名が選出された。

#### ○令和3年度業務実績報告及び第3期中期目標期間に係る業務実績について

福島県公立大学法人評価委員会に報告する令和3年度業務実績報告書及び第3期中期目標期間に係る業務実績報告書について審議され、原案のとおり承認された。

#### ○医師、保健師、助産師及び看護師国家試験の合格状況について

第116回医師国家試験、第108回保健師国家試験、第105回助産師国家試験、第111回看護師国家試験の本学受験生の合格状況について報告された。

### 【令和4年9月5日 令和4年度第2回教育研究審議会】

#### ○医学部定員の暫定増に伴う学則の一部改正（案）について

医学部定員の暫定増員に伴う学則の一部改正（案）について審議が行われ、原案のとおり承認された。

#### ○令和4年度福島県公立大学法人評価委員会の結果について

令和4年8月24日に開催された福島県公立大学法人評価委員会における本学の令和3年度業務実績に関する評価結果及び第3期中期目標期間に係る業務実績に関する評価結果の議論の概要について報告された。

#### ○福島国際研究教育機構基本構想への参画について

令和4年3月に政府が策定した福島国際研究教育機構基本構想への参画に向けた本学の取組状況等について報告された。

#### ○理事長候補適任者推薦に係る臨時的教育研究審議会の開催について

令和5年3月末日をもって、理事長の任期が満了となることから、令和4年10月に理事長選考会議を開催し、選考手続について審議、決定される予定であること等について説明された。

### 【令和4年12月9日 令和4年度第3回教育研究審議会】

#### ○福島県立医科大学大学院学則の一部改正について

本学と長崎大学とで運営している共同大学院「医学研究科災害・被ばく医療科学共同専攻」の授業科目見直しに伴う大学院学則の一部改正について審議

され、原案のとおり承認された。

### ○大学院看護学研究科助産師コースに係る助産師学校の指定について

大学院看護学研究科助産師コースに係る助産師学校の指定について、令和4年9月28日付けで文部科学大臣から指定を受けたこと等について報告された。

### ○医学部使命の策定について

医学部の使命を策定したこと及び医学部使命を学内外に周知を行うことについて報告された。

### 【令和5年3月23日 令和4年度第4回教育研究審議会】

### ○名誉教授称号授与について

令和5年3月31日付けで退職する、整形外科学講座の紺野慎一教授、神経精神医学講座の矢部博興教授、地域家庭・医療学講座の葛西龍樹教授及び生体情報伝達研究所の和田郁夫教授の名誉教授称号授与について審議され、原案のとおり承認された。

### ○保健科学部教育理念及び教育目標について

保健科学部の教育理念及び教育目標を正式に整理し、役員会で策定の報告を行った後、ホームページ等へ掲載することについて報告された。

### ○次期保健科学部長候補者の選考結果について

令和5年2月16日に開催された保健科学部定例教授会において次期保健科学部長候補者が選出されたことについて報告された。

### ○次期理事長予定者の選考結果について

令和5年1月13日に有資格者による意向投票を実施し、同日開催の理事長選考会議において次期理事長予定者が選出されたことについて報告された。

## ■医学部教授会

### 【令和4年3月16日 定例教授会】

### ○指针对応臨床研究審査委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

丸橋 繁 教授（肝胆膵・移植外科学講座）

鈴木 義行教授（放射線腫瘍学講座）

西田 満 教授（生化学講座）

### ○令和4年度カリキュラム委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

錫谷 達夫 教授（微生物学講座）

右田 清 教授（リウマチ膠原病内科学講座）

開 康一 教授（総合科学教育研究センター）

高森 智嗣 准教授（福島大学教育推進機構）

### 【令和4年4月20日 定例教授会】

### ○附属学術情報センター運営委員会委員の推薦について

次のとおり選出された。

生命科学・社会科学系

永福 智志 教授（システム神経科学講座）

田巻 倫明 教授（健康リスクコミュニケーション学講座）

臨床医学系

室野 重之 教授（耳鼻咽喉科学講座）

金井 数明 教授（脳神経内科学講座）

総合科学系

田辺 真 教授（総合科学教育研究センター 先端化学分野）

末永 恵子 講師（人間科学講座 生命倫理学分野）

### ○医学部教育評価委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

石田 隆史 教授（循環器内科学講座）

栗田 宜明 特任教授（臨床研究教育推進部）

### 【令和4年6月15日 定例教授会】

### ○一般倫理委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

東 智仁 准教授（基礎病理学講座）

島袋 充生 教授（糖尿病内分泌代謝内科学講座）  
 佐治 重衡 教授（腫瘍内科学講座）  
 渡邊 尚文 准教授（産科婦人科学講座）

### 【令和4年7月20日 定例教授会】

#### ○倫理審査委員会専門部会部会員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

千葉 英樹 教授（基礎病理学講座）  
 和田 郁夫 教授（細胞科学研究部門）  
 池田 和彦 教授（輸血・移植免疫学講座）  
 添田 周 教授（産科婦人科学講座）  
 小島 祥敬 教授（泌尿器科学講座）  
 福田 俊章 准教授（人間科学講座）

### 【令和5年3月15日 定例教授会】

#### ○飼養保管施設管理運営委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

関根 英治 教授（免疫学講座）  
 池添 隆之 教授（血液内科学講座）

#### ○組換えDNA実験安全委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

和栗 聡 教授（解剖・組織学講座）  
 下村 健寿 教授、（病態制御薬理医学講座）  
 松岡 有樹 教授（自然科学講座）  
 関口 美穂 教授（実験動物研究施設）  
 苅谷 慶喜 准教授（生化学講座）  
 井上 直和 准教授（細胞科学研究部門）  
 福田 俊章 准教授（人間科学講座）  
 岩佐 一 准教授（公衆衛生学講座）

#### ○研究用微生物安全管理委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

錫谷 達夫 教授（微生物学講座）  
 金光 敬二教授（感染制御学講座）  
 各務 竹康 准教授（衛生学・予防医学講座）  
 井上 直和 准教授（細胞科学研究部門）  
 関口 美穂 教授（実験動物研究施設）

#### ○令和5年度医学部入学試験委員会委員の選任について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

錫谷 達夫 教授（微生物学講座）  
 金光 敬二教授（感染制御学講座）  
 各務 竹康 准教授（衛生学・予防医学講座）  
 井上 直和 准教授（細胞科学研究部門）  
 関口 美穂 教授（実験動物研究施設）

### ■看護学部教授会

#### 【令和4年4月19日 定例教授会】

#### ○令和4年度看護学部入学試験委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

森 努 准教授（生命科学部門）

#### 【令和4年6月21日 定例教授会】

#### ○一般倫理委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

佐藤 菜保子 教授（成人・老年看護学部門）

#### 【令和5年3月14日 定例教授会】

#### ○組換えDNA実験安全委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

森 努 准教授（生命科学部門）

#### ○研究用微生物安全管理委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

森 努 准教授（生命科学部門）

#### ○飼養保管施設管理運営委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

太田 昌一郎 教授（生命科学部門）

## ■保健科学部教授会

### 【令和4年3月17日 定例教授会】

#### ○附属学術情報センター運営委員の選任について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

曾根 稔雅 教授（作業療法学科）  
三輪 健太 教授（診療放射線科学科）

### 【令和4年4月21日 定例教授会】

#### ○令和4年度保健科学部教務委員会委員の他学部教務委員選任について

次のとおり選出された。

（医学部教務委員の保健科学部教務委員就任者）  
佐野 秀樹 教授（小児腫瘍内科）  
（看護学部教務委員の保健科学部教務委員就任者）  
大川 貴子 准教授（小児・精神看護学部門）

### 【令和4年6月16日 定例教授会】

#### ○一般倫理委員会委員の選任について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

阿部 浩明 准教授（理学療法学科）

### 【令和5年3月16日 定例教授会】

#### ○組換えDNA実験安全委員会委員の選任について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

北爪 しのぶ 教授（臨床検査学科）

#### ○研究用微生物安全管理委員会委員の選任について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

豊川 真弘 教授（臨床検査学科）

#### ○飼養保管施設管理運営委員会委員の選任について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

北爪 しのぶ 教授（臨床検査学科）

#### ○保健科学部学生生活委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

柴 喜崇 教授（理学療法学科）  
倉澤 茂樹 教授（作業療法学科）

三輪 健太 教授（診療放射線科学科）  
梅澤 敬 准教授（臨床検査学科）  
久保田 恵佑 講師（総合科学教育研究センター）

#### ○保健科学部広報委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

楠本 泰士 准教授（理学療法学科）  
岡崎 可奈子 助教（理学療法学科）  
川又 寛徳 講師（作業療法学科）  
川崎 伊織 講師（作業療法学科）  
佐藤 久志 准教授（診療放射線科学科）  
大葉 隆 講師（診療放射線科学科）  
菅野 光俊 准教授（臨床検査学科）  
堀越 裕子 助教（臨床検査学科）

#### ○保健科学部予算委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

高橋 仁美 教授（理学療法学科）  
五百川 和明 教授（作業療法学科）  
加藤 貴弘 教授（診療放射線科学科）  
小川 一英 教授（臨床検査学科）  
安田 尚子 教授（総合科学教育研究センター）

#### ○保健科学部教務委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

神先 秀人 教授（理学療法学科）  
阿部 浩明 准教授（理学療法学科）  
曾根 稔雅 教授（作業療法学科）  
藤田 貴昭 准教授（作業療法学科）  
長谷川 功紀 教授（診療放射線科学科）  
五月女 康作 准教授（診療放射線科学科）  
義久 精臣 教授（臨床検査学科）  
鈴木 英明 准教授（臨床検査学科）  
柴田 恭子 准教授（総合科学教育研究センター）

※令和5年4月20日保健科学部定例教授会において、追加の委員について次のとおり選出された。

（医学部教務委員の保健科学部教務委員就任者）  
池田 和彦 教授（輸血・移植免疫学講座）  
（看護学部教務委員の保健科学部教務委員就任者）  
大川 貴子 准教授（小児・精神看護学部門）

**○保健科学部入学試験委員会委員の選任について**

次のとおり選出された。

高橋 仁美 教授（理学療法学科）

倉澤 茂樹 教授（作業療法学科）

高橋 規之 教授（診療放射線科学科）

小川 一英 教授（臨床検査学科）

本多 創史 教授（総合科学教育研究センター）

佐々木 道子 教授（総合科学教育研究センター）

**○保健科学部ファカルティ・ディベロップメント委員会委員の選任について**

次のとおり選出された。

横塚 美恵子 准教授（理学療法学科）

浅尾 章彦 講師（作業療法学科）

福田 篤志 准教授（診療放射線科学科）

三浦 里織 助教（臨床検査学科）